

平成25年度 網走南部署斜里地区
鳥獣被害対策エゾシカ捕獲事業
第2号

報告書



平成27年3月

北海道森林管理局

目次

1. はじめに	1
2. 事業実施場所および工程	1
3. 囲いワナの構造および捕獲方法	4
4. 事業実施結果	17
5. 考察	20
6. 付録：現場作業の実施状況・記録写真	21

1. はじめに

知床半島にはエゾシカが高密度で生息しており、世界自然遺産登録後はエゾシカの採食圧による環境への悪影響を緩和すべく、知床世界自然遺産地域科学委員会のエゾシカ・陸上生態系ワーキンググループにおける議論を受けて、各行政機関が個体数調整事業を半島内各地で実施している。

本事業は、知床半島における高密度のエゾシカ生息による森林被害等の採食圧の低減を図り、原始的な生態系を回復させるため、囲いワナによるエゾシカ生体捕獲を実施し、個体数の調整を図るとともに、捕獲の効果やエゾシカの生息状況等を把握することにより、次年度以降の捕獲計画に資することを目的として実施した。

2. 事業実施場所および工程

本事業における捕獲実施場所は、知床半島の西側に位置する北海道斜里郡斜里町ウトロ西国有林（網走南部森林管理署①1376 林班および②1377 林班；①オシンコシンの滝上部の国有林内、および②斜里町ウトロ下水終末処理場裏の国有林内の 2 か所）で、囲いワナを設置した（図 1、写真 1, 2）。以下①はオシンコシン囲いワナ、②はフンベ囲いワナとする。設置場所はいずれも国指定鳥獣保護区内で一般ハンターによる狩猟は行われていないが、近接するエリアでは狩猟や管理捕獲が行われている。



図 1. 本事業における囲いワナの設置位置図.



写真 1. オシンコシン囲いワナ作設前の状況.



写真 2. フンベ囲いワナ作設前の状況.

オシンコシン囲いワナは、近接する半島基部側国有林は可猟区で一般狩猟が行われている。囲いワナの作設工事は、契約締結後の平成 26 年 12 月 26 日より着工し、平成 27 年 1 月 21 日に完成した。餌付け誘引はワナ作設工事の着工前から実施しており、12 月 25 日に開始した。ワナ完成後直ちに捕獲は行わず、約 1 週間程度給餌のみ行いエゾシカがワナ内部への出入りに十分に馴化したと判断された後、捕獲待機体制に移行した。オシンコシン囲いワナでは 1 月 21 日に捕獲待機に入り 3 月 18 日に待機体制を解除、捕獲を終了した(表 1)。ワナの稼働日数は 57 日間であった。

表 1. 本事業の実施工程（オシンコシン囲いワナ）

項目	12月		1月		2月			3月		
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
捕獲許可申請	←→									
囲いワナ作設		←→								
餌付け誘引		←→								
ワナ周辺のシカ生息状況等把握	←→									
ワナ内外・搬出路の除雪メンテナンス			←→							
生体捕獲・運搬				←→						
電動捕獲装置撤去										↔
報告書作成								←→		

フンベ囲いワナは、河岸段丘上の農耕地において管理捕獲が行われている。囲いワナの作設工事は、契約締結後の平成 27 年 1 月 26 日より着工し、2 月 4 日に完成した。餌付け誘引はワナ作設工事の着工前から実施しており、1 月 10 日に開始した。ワナ完成後直ちに捕獲は行わず、約 1 週間程度給餌のみ行いエゾシカがワナ内部への出入りに十分に馴化したと判断された後、捕獲待機体制に移行した。フンベ囲いワナでは 2 月 8 日に捕獲待機に入り、3 月 18 日に待機体制を解除、捕獲を終了した（表 2）。ワナの稼働日数は 39 日間であった。

表 2. 本事業の実施工程（フンベ囲いワナ）

項目	12月		1月		2月			3月		
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
捕獲許可申請	←→									
囲いワナ作設					↔					
餌付け誘引			←→							
ワナ周辺のシカ生息状況等把握			←→							
ワナ内外・搬出路の除雪メンテナンス			←→							
生体捕獲・運搬				←→						
電動捕獲装置撤去										↔
報告書作成								←→		

3. 囲いワナの構造および捕獲方法

3-1. 囲いワナの構造

本事業に使用した囲いワナは仕様書の設計（図 2～6）を基本として作設したが、異常な暴風雪により今後倒壊の恐れがあること、また、現在の形状ではエゾシカの生体での捕獲に支障を来す恐れがあることが判明した（写真 5, 6, 7）ため、現場協議により補強改良された状態（写真 8, 9, 10）でエゾシカの捕獲を行った。また、フンベ囲いワナにおいては、囲いワナ設置予定地の地中に岩が多数存在することが判明したため、一部施工方法（図 4, 5 の側面図参照）を変更して囲いワナを設置した（写真 11）。両囲いワナの補強改良に使用した部材を含めた部材の集計表をそれぞれ表 3, 4 に示した。

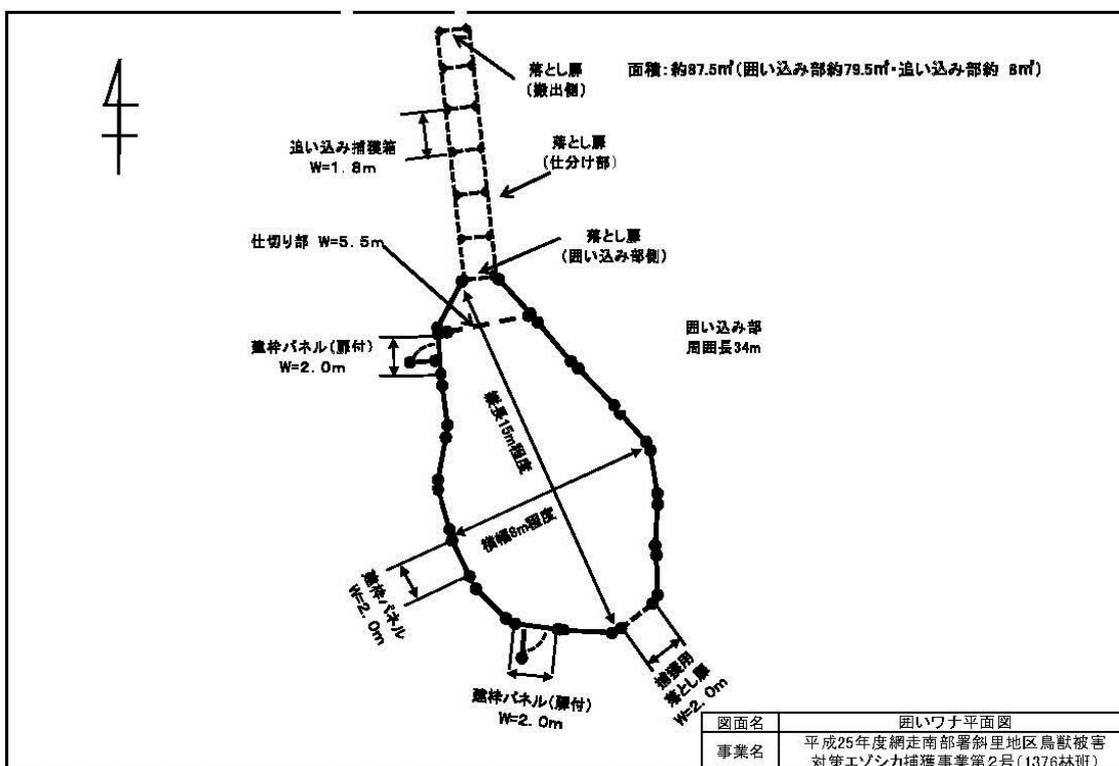


図 2. 本事業で設置したオシンコシン囲いワナの平面図.

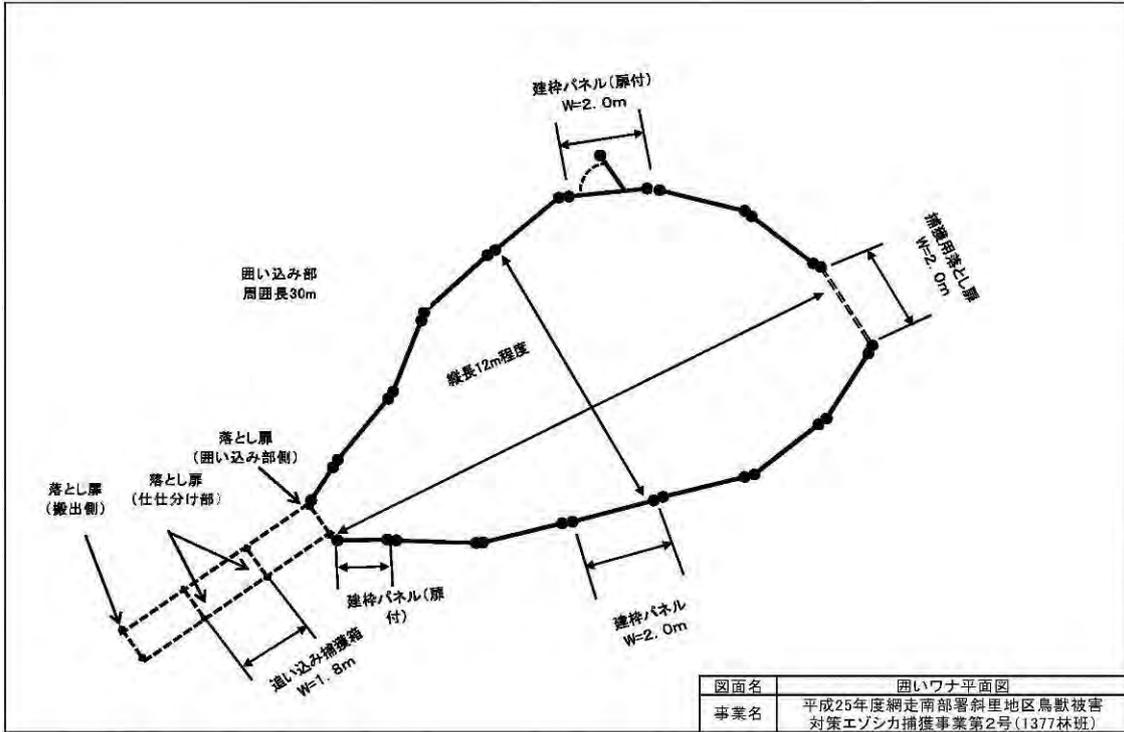


図 3. 本事業で設置したフンベ囲いワナの平面図.

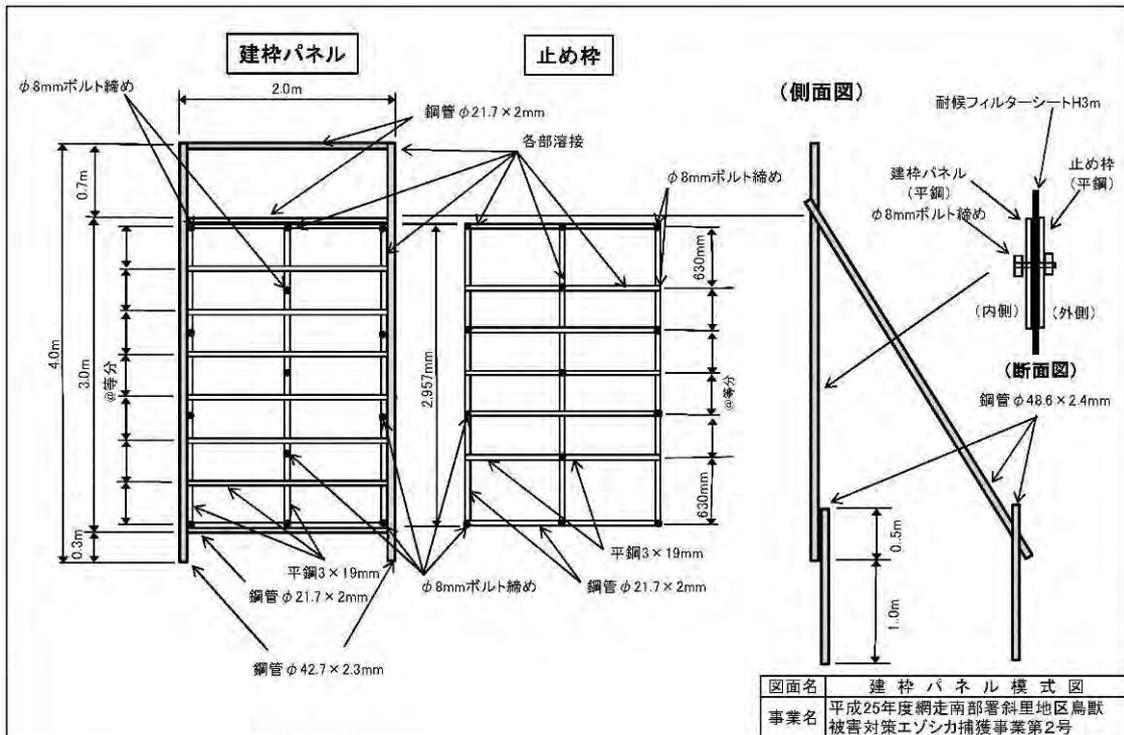


図 4. 本事業の囲いワナで使用した建枠パネルの図.

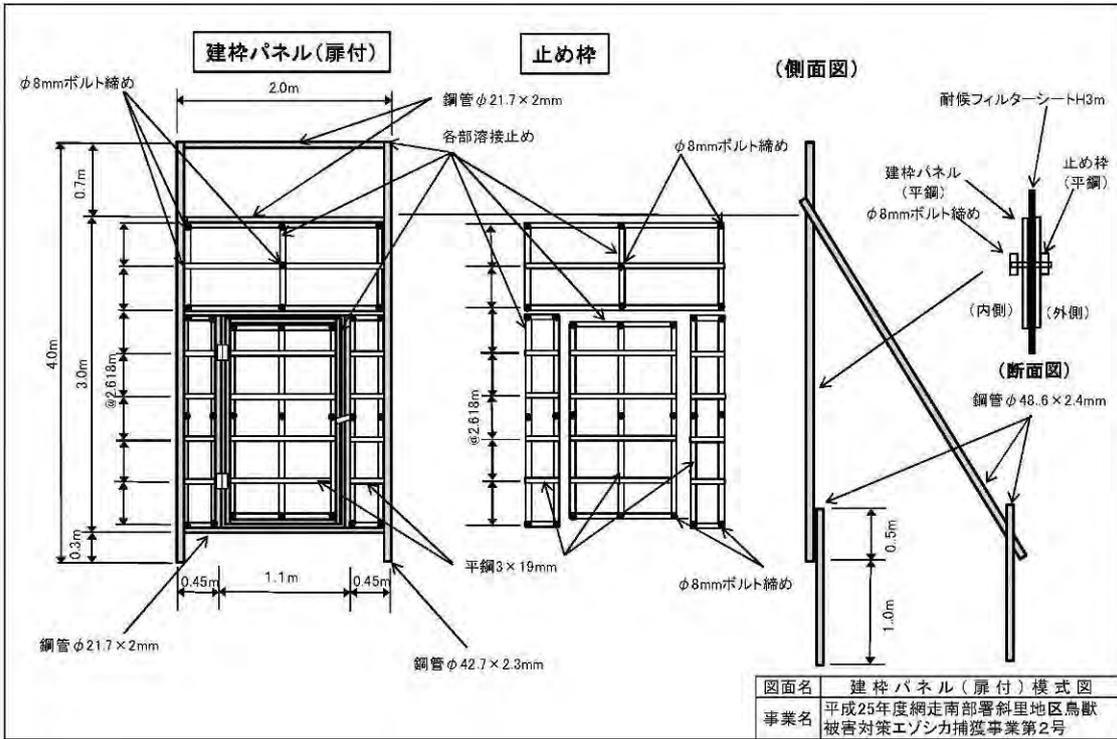


図 5. 本事業の囲いワナで使用した建枠パネル（扉付き）の図.

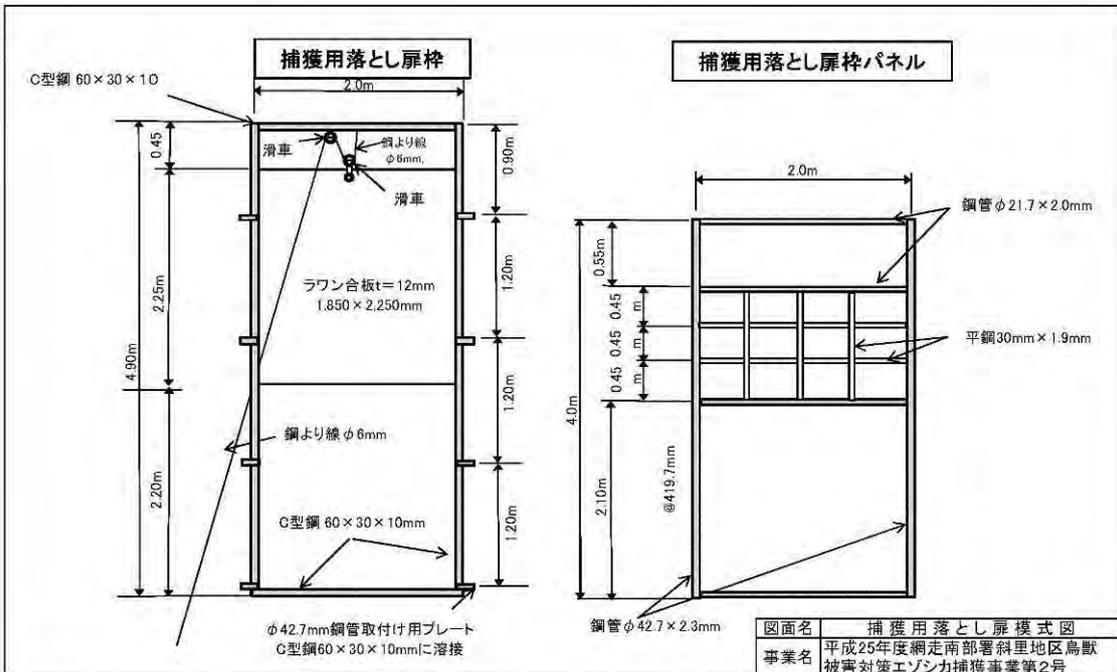


図 6. 本事業で設置した捕獲用落とし扉枠及び扉枠パネルの詳細図.

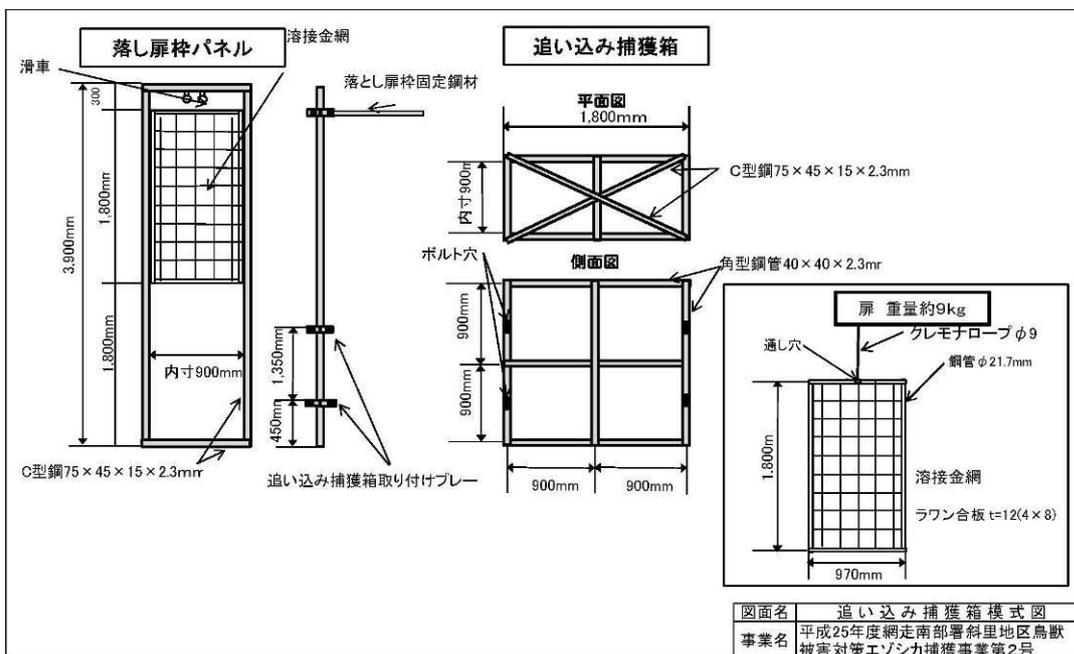


図 7. 本事業で設置した落とし扉枠パネル及び追い込み捕獲箱の詳細図.



写真 3. 囲い込み部の外観. 正面は扉付パネルで右端は捕獲用落とし扉.



写真 4. 捕獲用落とし扉（ワナ外側から撮影）.



写真 5. 建枠パネルに大きな隙間ができ、捕獲したエゾシカが首を突っ込む恐れがある.



写真 6. 追い込み捕獲箱に天井がなく、捕獲したエゾシカが飛び出す恐れがある.



写真 7. 落とし扉の溶接金網の格子の間隔が 20 cm 四方となっており、捕獲したエゾシカが首を突っ込む恐れがある.



写真 8. 囲いワナの内観. 内壁はコンパネ及びブルーシートで隙間を埋め、補強された状態. 左は追い込み捕獲箱への入り口.



写真 9. 追い込み捕獲箱の外観. 天井をコンパネで塞いだ状態.



写真 10. 追い込み捕獲箱の外観。落とし扉金網は当初想定の格子幅ではエゾシカの頭部が網目に入る事故が懸念されたため、格子幅を小さめに変更した。



写真 11. フンベ囲いワナ作設中の外壁。鋼管を地中に埋設できないため、大型土嚢で建枠パネルを固定した。

表 3. オシンコシン囲いワナ作設に使用した部材一覧表

番号	名 称	規格・寸法	単位	使用数量
1	型枠パネル	W2.00*H4.00*φ 42.7	枚	14.00
2	型枠パネル(扉付)	W2.00*H4.00*φ 42.7	枚	2.00
3	捕獲箱	W0.90*L1.80*H1.80	基	6.00
4	捕獲箱用落とし扉枠	W0.97*H3.90	枚	7.00
5	鋼製落とし扉	W0.97*H1.80	枚	7.00
6	木製落とし扉	W0.97*H1.80	枚	7.00
7	捕獲用落とし扉	W2.00*H4.90	枚	1.00
8	捕獲用木製落とし扉	W1.85*H2.25	枚	1.00
9	仕切り部	ブルーシート、単管など	基	1.00
10	自動捕獲装置	自動車用電源12V仕様	個	1.00
11	耐候フィルターシート	W2.00*L50.00	m ²	96.00
12	単管パイプ	φ 48.6*L4.00	本	68.00
13	単管パイプ	φ 48.6*L1.50	本	68.00
14	自在クランプ	φ 48.6用	個	200.00
15	型枠用合板	W0.90*H1.80*T0.012	枚	42.00
16	ワイヤーメッシュ	W1.00*H2.00	枚	2.00
17	ブルーシート	#3000	m	33.00
18	サンギ	L=3.65	本	75.00
19	ドーブチ	L=3.65	本	40.00

表 4. フンベ囲いワナ作設に使用した部材一覧表

番号	名 称	規格・寸法	単位	使用数量
1	型枠パネル	W2.00*H4.00*φ 42.7	枚	13.00
2	型枠パネル(扉付)	W2.00*H4.00*φ 42.7	枚	2.00
3	捕獲箱	W0.90*L1.80*H1.80	基	3.00
4	捕獲箱用落とし扉枠	W0.97*H3.90	枚	4.00
5	鋼製落とし扉	W0.97*H1.80	枚	4.00
6	木製落とし扉	W0.97*H1.80	枚	4.00
7	捕獲用落とし扉	W2.00*H4.90	枚	1.00
8	捕獲用木製落とし扉	W1.85*H2.25	枚	1.00
9	自動捕獲装置	自動車用電源12V仕様	個	1.00
10	耐候フィルターシート	W2.00*L50.00	m ²	120.00
11	単管パイプ	φ 48.6*L4.00	本	60.00
12	単管パイプ	φ 48.6*L1.50	本	45.00
13	自在クランプ	φ 48.6用	個	100.00
14	型枠用合板	W0.90*H1.80*T0.012	枚	42.00
15	ワイヤーメッシュ	W1.00*H2.00	枚	2.00
16	ブルーシート	#3000	m	29.00
17	サンギ	L=3.65	本	65.00
18	ドーブチ	L=3.65	本	35.00
19	大型土のう	1t	個	16.00

3-2. 誘引および捕獲の方法

ワナ周辺およびワナ内部へエゾシカを誘引するための餌には、畜産用の乾草ブロック（ルーサンハイバール：マメ科牧草のアルファルファ乾草を約25kg単位でブロックにしたもの）を用いた。

オシンコシン囲いワナでは、乾草ブロックをほぐしてワナ周辺のエゾシカの足跡が多く確認できる場所に散布し、さらにそこから囲いワナ入り口に誘導するように少量ずつ撒く誘引方法を採用した。具体的にはワナから 200 m 以上離れた場所から、点々とワナ入口まで餌を少量ずつまくことで誘引する作業を実施した。フンベ囲いワナでは、エゾシカが視認できる場所に広範囲に乾草ブロックを撒く方法を採用した。具体的にはワナから 200 m 以上離れた場所にいるエゾシカの群れから見える位置に、広範囲に餌を散布することで離れた場所からの誘引を実施した。

本事業の実施期間中にエゾシカの誘引のために使用した餌の総量は、オシンコシン囲いワナでは乾草ブロック約 16 個、フンベ囲いワナでは約 16 個の計 32 個であった。

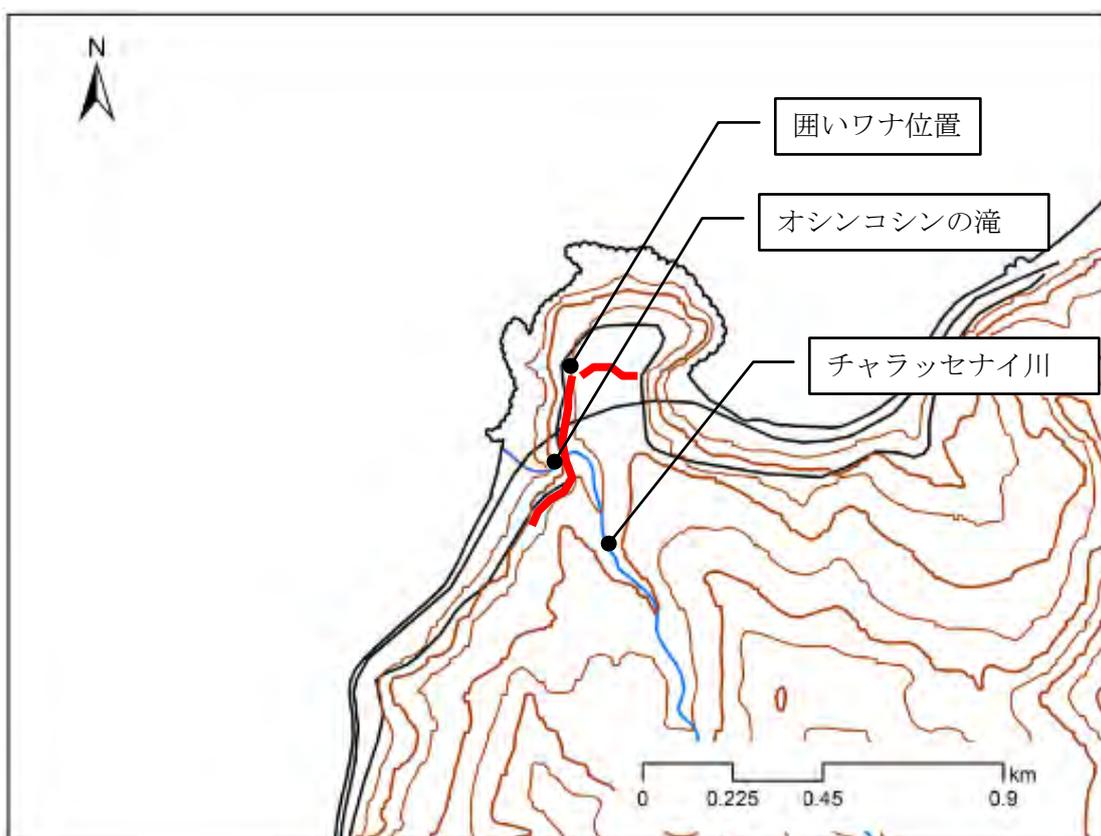


図 8. オシンコシン囲いワナの餌まき誘引実施地点（赤実線）。

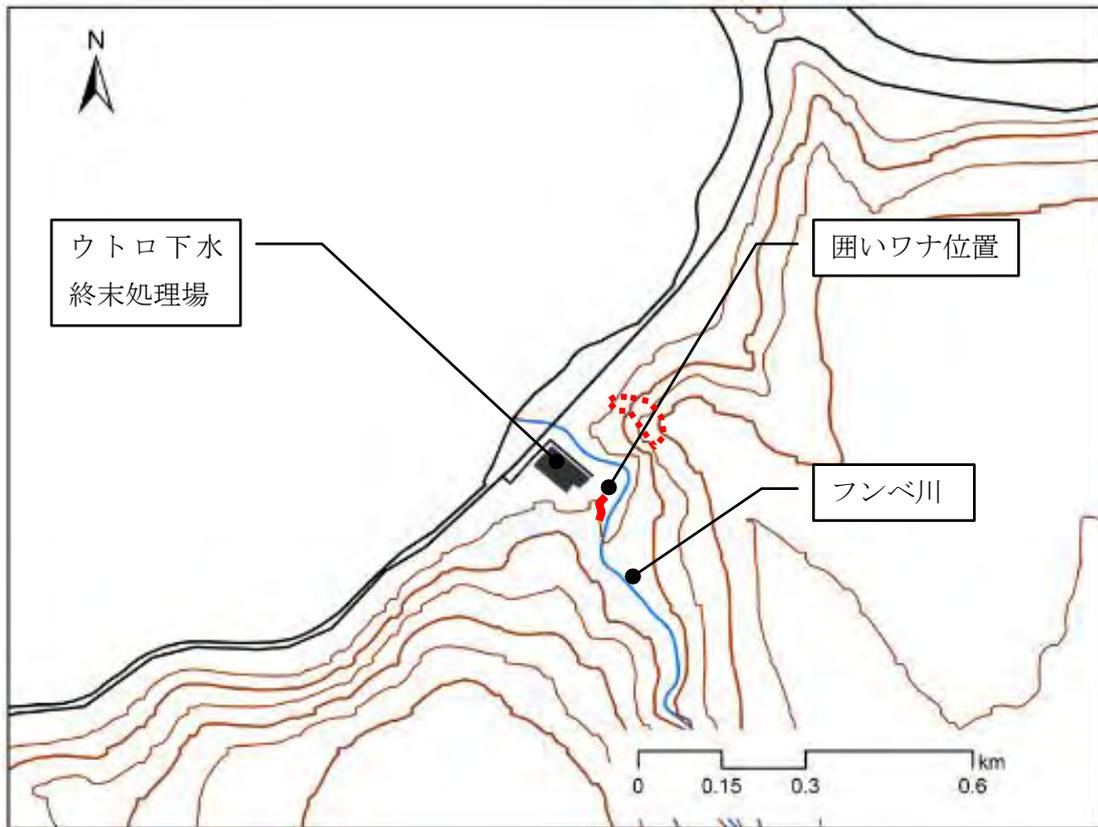


図 9. Funbe 囲いワナの餌まき誘引実施地点（赤実線）. エゾシカの群れは普段赤破線の地点にいるが、誘引実施地点に誘引されていることが日常的に観察されている。

ワナ内へ誘引したエゾシカの捕獲（落とし扉の落下による囲い込み部への閉じ込め）に使用した捕獲装置を写真 12. に示した。本捕獲装置は、ワナ内に設置された監視カメラから伸ばしたケーブル（延長 200m）の末端にモニターと、遠隔操作で捕獲用落とし扉を落下させる装置を接続し、エゾシカがワナ内に入っていることをモニターで確認した場合、遠隔操作で落とし扉を閉鎖するシステムになっている。電源は車両のシガーソケットから供給した。なお、ワナ周辺へのエゾシカの出現時刻および生息状況を把握するため、静止画撮影用の自動撮影カメラ 3 台（機種名：TROPHY CAM, Bushnell, USA）を、それぞれワナ内部及び外部の落とし扉前、ワナ外部周辺を見渡せる位置の 3 か所に設置した。



写真 12. 捕獲装置のモニターと扉落下スイッチのセット.

4. 事業実施結果

オシンコシン 罠いワナ

オシンコシン罠いワナでは本事業期間中に計 41 頭を捕獲した（表 5）。落とし扉の閉鎖 1 回あたりの捕獲頭数は 2～6 頭、平均 3.2 頭であった。捕獲の成功間隔は 1～14 日（平均 4.4 日）であった。捕獲総数 41 頭をワナ稼働日数 57 日で除した捕獲効率は 0.72 頭/日であった。

捕獲を重ねるにつれ、ワナ外の落とし扉前までは誘引されていても、ワナ内への進入を忌避する個体が多くなり、捕獲効率が低下した。このような捕獲効率の低下が認められた場合には、ワナから離れた場所まで餌撒き誘引を実施し、再び餌とワナへの馴化の促進を試みた。ワナへの馴化についての効果は不明であったが、餌はほぼ全て食べられたため餌への馴化は促進されたと思われた。

自動撮影カメラでは、エゾシカがワナ周辺に出没する時間帯を数日おきに確認した。一日の中でワナの入口周辺に最も多くエゾシカが集まった時間帯は 16 時台で、次に多かったのは 0 時台であった（図 10）。また、自動撮影カメラによるエゾシカの同時最多確認頭数は月別には 1 月は 4 頭、2 月は 9 頭、3 月は 9 頭であった。現地での目視によるエゾシカの最多確認頭数は、2 月 5 日にワナから 200m 以上離れた道路法面で目視した 12 頭であった。

また、2 月 6 日に捕獲したメス成獣については標識（左耳に 53 番緑タグ）を装着して、罠シカ（※）として放逐した。その罠シカは放逐後、ワナ前の自動撮影カメラに少なくとも 1 度は写っていることが確認された。2 月 24 日に捕獲した別の標識付きのエゾシカは、2005 年にオシンコシン罠いワナ設置地点とほぼ同地点で装着された個体ということが判明し、これも罠シカとすべく放逐した。しかし、その後はワナ周辺で確認されなかった。

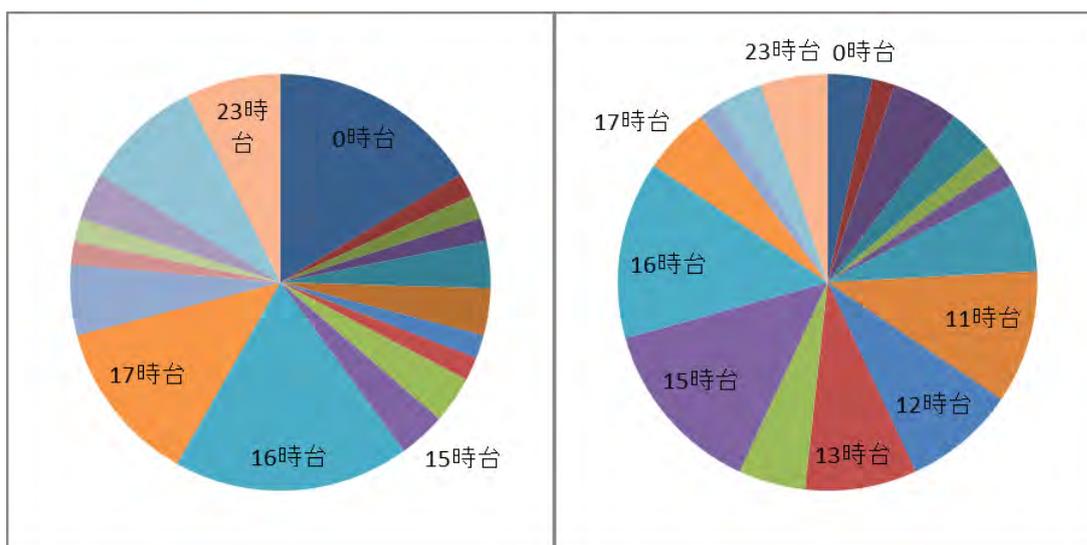
短期間の大量降雪への対応では、家庭用除雪機を罠いワナ内部に進入させることが地形の関係上困難だったため、罠いワナ内部主体に原則すべて人力で除雪を実施した。また、扉の可動範囲や暗箱周辺などの細部の除雪作業も毎回人力で実施した。しかし、大量降雪が発生する度にワナまでの道路が 1～2 日間、通行不能になることがあったため、ワナ周辺の除雪は 1～2 日遅れて実施することとなった。

※ 罠いワナへの出入りに慣れた標識個体を意図的に捕獲しない（捕獲されても放逐する）ことにより、周辺にいる他個体の警戒心が緩和され、罠いワナへ進入し易くなる可能性が過去の他の捕獲事業で示唆されている。その標識個体を罠シカと呼ぶこととする。

表 5. オシンコシン囲いワナにおけるエゾシカの捕獲結果

捕獲日	捕獲時刻	捕獲個体内訳						計	搬出日	備考
		メス成獣	0歳	オス						
				4尖	3尖	2尖	1尖			
1月21日	17:07	2	2	2				6	1月22日	
1月25日	18:30			1	2			3	1月26日	
1月29日	18:20			1			1	2	1月30日	
2月6日	17:15		1	1				2	2月7日	標識付1頭除く
2月7日	16:57	3	2				1	6	2月9日	
2月10日	16:34			1	1			2	2月11日	
2月14日	16:20	1	1					2	2月17日	
2月18日	17:30	3		1				4	2月19日	
2月19日	20:15			1	1			2	2月20日	
2月24日	17:20		1	1				2	3月2日	標識付1頭除く
2月26日	18:37	2					1	3	3月2日	
3月12日	18:30	3	2					5	3月13日	
3月15日	18:55	1	1					2	3月16日	
計		15	10	9	4	0	3	41		

※本報告書においては、落とし扉の閉鎖によってエゾシカが囲いワナ内部から脱出できない状況になった時点を「捕獲」と定義し、捕獲したエゾシカを一時養鹿業者が用意した輸送用暗箱に移すことを「搬出」と定義する。



オシンコシン囲いワナ

フンベ囲いワナ

図 10. エゾシカが最も多く撮影された時間帯. 1日を1時間ごとに区切り、自動撮影カメラで同時最多確認された時間帯を1と数えて算出された比率。

フンベ囲いワナ

フンベ囲いワナでは本事業期間中に計 19 頭を捕獲した（表 6）。落とし扉の閉鎖 1 回あたりの捕獲頭数は 1～6 頭、平均 2.7 頭であった。捕獲の成功間隔は 1～21 日（平均 6.0 日）であった。捕獲総数 19 頭をワナ稼働日数 39 日で除した捕獲効率は 0.49 頭/日であった。

捕獲を重ねるにつれ、ワナ外の落とし扉前までは誘引されていても、ワナ内への進入を忌避する個体が多くなり、捕獲効率が低下した。

このような捕獲効率の低下が認められた場合には、ワナの外への餌撒き量を増やし、再び餌とワナへの馴化の促進を試みた。ワナへの馴化についての効果は不明であったが、餌はほぼ全て食べられたため餌への馴化は促進されたと思われた。

自動撮影カメラでは、エゾシカがワナ周辺に出没する時間帯を数日置きに確認した。一日の中でワナの入り口周辺に最も多くシカが集まった時間帯は 15 時台と 16 時台であった（図 10）。また、自動撮影カメラによるエゾシカの同時最多確認頭数は月別には 1 月は 7 頭、2 月は 8 頭、3 月は 9 頭であった。現地での目視によるエゾシカの最多確認頭数は、2 月 13 日の約 20 頭であった。

なお、短期間の大量降雪に対応するため、家庭用除雪機を囲いワナ内部に進入させての集中的除雪作業を、計 2 回実施した（2 月 3 日、2 月 17 日）。しかし、除雪機の限度を超える深さの積雪があった場合は、囲いワナ内部に除雪機を進入させることが困難だったため人力で除雪を行った。また、扉の可動範囲や暗箱周辺などの細部の除雪作業は、毎回人力で実施した。

表 6. 平成 26 年度知床ウトロ西地区囲いワナ（フンベ）によるエゾシカの捕獲結果

捕獲日	捕獲時刻	捕獲個体内訳						計	搬出日	備考
		メス成獣	0歳	オス						
				4尖	3尖	2尖	1尖			
2月8日	17:00			1				1	2月11日	
2月10日	21:55			1		1		2	2月11日	
2月13日	16:45	3						3	2月18日	
2月19日	16:07	1					1	2	2月20日	
2月20日	18:30					1		1	2月21日	
3月12日	11:40	1		3				4	3月12日	
3月15日	17:05	5				1		6	3月16日	
計		10	0	5	0	3	1	19		

※本報告書においては、落とし扉の閉鎖によってエゾシカが囲いワナ内部から脱出できない状況になった時点を「捕獲」と定義し、捕獲したエゾシカを一時養鹿業者が用意した輸送用暗箱に移すことを「搬出」と定義する。

5. 考察（効率的な捕獲方法等に関して）

本事業では2か所の囲いワナで計60頭のエゾシカの捕獲・搬出に成功した。捕獲をするために、遠隔操作の落とし扉閉鎖を2か所計20回実施したが、捕獲を試みるためにワナまで通った回数は、オシンコシン囲いワナで34回、フンベ囲いワナで49回の計83回であった。通った回数割に捕獲数が積み上がらなかった要因としては、エゾシカの囲いワナへの進入時間と捕獲待機時間とのズレ（空振りパターン）、多数進入時間とのズレ（捕獲機会の逸失）の2つの捕獲ロスが挙げられ、これらを減らすことが、今後の捕獲効率向上につながると思われる。

このことから前者対応策としては、捕獲待機1回あたりのモニター監視時間を延長する必要がある。しかし人間が現地で気配を殺して長時間待機するには限界があるため、携帯電話回線を利用した遠隔監視と遠隔扉操作がセットになった市販の捕獲装置の設置が望ましいと考えられる。

また、後者の対応策について、囲いワナ周辺にエゾシカが多く集まる時間帯を自動撮影カメラにより把握することで捕獲効率を上げようと試みたが、特にフンベ囲いワナではエゾシカが多く集まる時間帯が一定せず不安定であったため（図10）、人が監視して待機すべき時間を絞り込めなかった。これを踏まえ、人が通わずともワナを24時間自動監視して事前設定頭数に達すると自動で捕獲扉が閉まる市販システムを導入することで、捕獲効率の改善につながると思われる。

その他、囲いワナの部材に関しては、切れ端が風で揺れたり、風で音を立てたりするような囲い部のシートでは、エゾシカがワナ内に進入する際に警戒する様子が捕獲待機での監視中に確認されたため、対策として風の影響を受けにくい部材が望まれる。また、囲いワナの設置されていた地域は、有害駆除による個体数調整が行われている地域や一般可猟区と隣接しており、鳥獣保護区内の個体と比較し人に対する警戒心が強かったと考えられる。このことから、捕獲の際に人が囲いワナに近づく必要がない上記2つのような捕獲装置を使用することで、エゾシカに警戒される機会が減り、捕獲効率上がる可能性がある。

一方、本事業で採用していた捕獲方法は、捕獲の有無にかかわらず車両で囲いワナまで出向かなければならないため作業効率は悪かったが、携帯電話回線の電波が届かない場所や、電源の供給が困難な場所での囲いワナでは非常に有効であると考えられる。

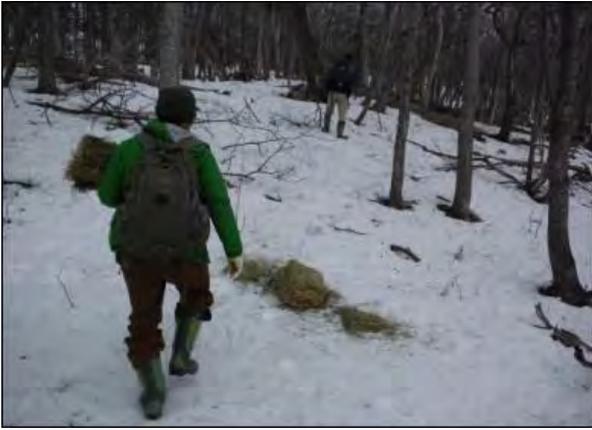
以上により、囲いワナを設置する場所の地理的条件、そこに生息するシカの習性、それに合わせた捕獲資機材の選択、この3要素の組み合わせを考慮し捕獲事業を進めることが重要であると考えられる。

付録：現場作業の実施状況・記録写真

オシンコシン囲いワナ

<p>平成 26 年 12 月 20 日 (土) ①8:50-9:50 (計 3 名) ②12:40-13:40 (計 2 名)</p>	<p>①・囲いワナ設置予定地の現況確認。 ・オジロワシ営巣木の位置と現況確認。 →巣上に積雪あり (ワシによる除雪なし)、ワシの姿の視認なし。 ・ワナ予定地付近にエゾシカの足跡を複数確認。</p> <p>②囲いワナ設置予定地にて、壁面に相当する見出し板の配置ならびにワナサイズのイメージを確認 (立会)。</p> 
<p>12 月 21 日 (日) 14:20-15:00 (計 3 名)</p>	<p>・オシンコシン旧道東側 (ウトロ側) 出口～同西側 (斜里本町側) 出口までの国道沿い約 2.5km 区間において、シカのロードサイドカウント調査を実施 (国道を車両で低速走行)、 ・シカ発見なし (0 頭)。オジロワシ発見なし。</p>

<p>12月24日(水)</p> <p>14:00-14:50 (計5名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者、受注者で現地立会を実施。囲いワナの位置や形状の確認を行った。ワナは現在の部材のまま、形状のみ細長くすることとした。 
---	---

<p>12月25日(木)</p> <p>9:35-11:10 (計3名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワナの稼働前に、シカを馴らすのを目的に乾草ブロックを初散布。 ・カメラのコードが国有林内を通るようにラインを決め、目印としてピンクテープを設置。 
--	---

<p>12月30日(火)</p> <p>9:35-10:30 計1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワナ内外の餌が食べられていたため、餌を追加。 
--	--

<p>平成27 (2015)年</p> <p>1月1日(木)</p> <p>10:00-10:30 (計1名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現場確認を実施。ワナ内にシカが侵入した痕跡があり、順調に餌付いている様子。 
---	--

<p>1月5日(月)</p> <p>14:20-15:30 (計6名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誘引状況の確認。新しい痕跡なし。 ・ワナ周辺の倒木や切り株などの除去作業を実施。 
---	---

<p>1月6日(火)</p> <p>13:30-14:30 (計4名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワナの不具合調整のため、発注者と現場立会を実施。 ・捕獲装置のコードの設置場所の変更を施工業者と確認。 
---	--

<p>1月7日(水)</p> <p>13:50-14:50 (計3名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨夜の暴風による被害状況を確認。暴風による損壊などは確認できなかった。 ・シカがワナ内の餌を食べた痕跡を確認。ワナ内の餌をワナ内の真ん中に再設置した。 
---	--

<p>1月9日(金)</p> <p>10:20-11:45 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワナ内外に自動撮影カメラ3台を設置。 ・ワナ内外に乾草ブロック1/2を設置。 
<p>1月10日(土)</p> <p>10:15-11:00 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ1台を移設。 ・前回設置したワナ外の餌の完食を確認。
<p>1月11日(日)</p> <p>10:05-11:55 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワナ内にのみ、乾草ブロックを設置。
<p>1月13日(火)</p> <p>10:05-11:55 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワナ工事の進捗状況を確認。 ・ワナ内の餌は、ほぼ食べられていた。
<p>1月14日(水)</p> <p>11:00-11:45 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワナ内にのみ乾草ブロックを設置 ・ワナの工事の進行状況を確認。

<p>1月15日(木)</p> <p>9:30-11:00 (計4名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者と共に現場立会を実施。 ・ワナ内に乾草ブロックを設置し、ワナ外のシカ道沿いにも少量散布した。
<p>1月16日(金)</p> <p>9:00-10:30 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワナ内に乾草ブロックを散布し、ワナ外のシカ道沿いにも散布。
<p>1月17日(土)</p> <p>09:15-10:00 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワナ内に乾草ブロックを設置した。 ・追い込み捕獲箱内やワナ内に乾草ブロックを残置。 ・ワナ内の自動撮影カメラの電池を交換。
<p>1月18日(日)</p> <p>17:15-18:00 (計4名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲装置のモニターの夜間での映り具合と操作の確認を行った。
<p>1月20日(火)</p> <p>9:00-10:30 (計3名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乾草ブロックをワナ内、ワナ外(少量)に設置した。 ・遠隔操作の映像がモニターに映らない、落とし扉の動作が確認できなかった。(原因不明)→後日修復

<p>1月21日(水)</p> <p>①9:15-10:45 (計2名)</p> <p>②16:00-17:50 (計3名)</p>	<p>①・乾草ブロックをワナ内に設置した ・捕獲用落とし扉の開閉状況をチェック。 ・自動撮影カメラのSDカードを交換。 ・強度面など、問題のある部分は補強した。</p> <p>②6頭のシカ捕獲に成功(17:07)。</p> 
<p>1月22日(木)</p> <p>14:20-16:10 (計4名)</p>	<p>・前日捕獲した6頭を搬出。 ・自動撮影カメラのSDカードと電池を交換。 ・乾草ブロックをワナの中心に散布。 ・暴風雪の予報があり、追い込み捕獲箱の扉はすべて閉めたが、凍結防止のため、少し浮かせた状態にした。</p> 
<p>1月23日(金)</p> <p>10:00-10:50 (計2名)</p>	<p>・乾草ブロックをワナ内に設置。 ・ワナ内とゲート前のカメラのSDカードを交換。 ・捕獲装置用カメラの動作確認。</p>

<p>1月25日(日)</p> <p>①9:50-11:30 (計5名)</p> <p>②17:20-19:10 (計2名)</p>	<p>①・ワナ内外の除雪を実施。 ・乾草ブロックをワナ内部に散布。 ・捕獲装置用カメラの向きを修正。</p>  <p>②シカ3頭を捕獲(18:30)。 ⇒仕分けを試みたが、追い込み捕獲箱に収容できたのは、一頭のみであった。</p>
--	--

<p>1月26日(月)</p> <p>①9:40-11:30 (計3名)</p> <p>②17:00-18:40 (計2名)</p>	<p>①オス3頭を搬出した後、餌づけ誘引作業を実施。</p>  <p>②・捕獲待機をしたが、シカは現れず終了。 ・外では、自動撮影カメラが数回光っていたが、シカの姿は確認されなかった。</p>
--	---

<p>1月 27日 (火)</p> <p>①10:20-10:30 (計3名)</p> <p>②15:15-17:10 (計2名)</p>	<p>①・ワナ内部に乾草ブロック少量を散布。 ・ワナ内外の自動撮影カメラのSDカードを交換。</p> <p>②・捕獲待機をしたが、シカは現れず。 ・道路法面にシカがたくさん付いており、ワナ周囲には集まっていない。</p> 
---	---

<p>1月 29日 (木)</p> <p>①13:30-14:00 (計2名)</p> <p>②17:30-19:00 (計2名)</p> <p>③20:35-21:00 (計1名)</p>	<p>①乾草ブロックをワナ内メインに散布。</p>  <p>②・2頭を捕獲し、追い込み捕獲箱に仕分けた(18:20捕獲)。 ・仕分け後、乾草ブロックを少量散布し、ワナを再セットした。</p> <p>③・捕獲待機を実施したが、シカの進入がなく対応終了。 ・ワナ内には十分餌がある状況。</p>
---	---

<p>1月30日(金)</p> <p>①8:10-8:15 (計1名)</p> <p>②15:20-16:40 (計3名)</p>	<p>①・捕獲待機するも、シカは現れず対応終了。 ・昨晩と同じく、ワナ内には十分餌がある状況。</p> <p>②・追い込み捕獲箱内のシカ、2頭を搬出。 ・ワナ内とワナ前の自動撮影カメラのSDカードを交換。 ・マンゲートにカンヌキを設置。</p> 
---	---

<p>1月31日(土)</p> <p>14:20-15:20 (計2名)</p>	<p>・暴風雪予報のため、現場確認と対策を実施した。 ⇒破損しないよう、捕獲扉を6割程度の開放状態とした。 ・餌は散布せず。</p>
--	--

<p>2月4日(水)</p> <p>①9:40-11:10 (計7名)</p> <p>②16:40~18:00 (計1名)</p>	<p>①・追い込み捕獲箱設置の検査を実施。 ・除雪を実施。 ・ワナ内外に餌を散布。</p>  <p>②・捕獲待機を実施。ワナ内へ3頭の進入を確認したが、4尖オスがワナ内のメスを追い出してしまったため捕獲は見送り。</p>
---	--

<p>2月5日(木)</p> <p>13:20-14:40 (計8名)</p>	<p>・ワナから離れたところのシカを誘引するため、二手にわかれて遠く(300mほど)からワナまでシカ道や道路沿いに点々と餌撒きを実施。</p> 
---	--

<p>2月6日(金)</p> <p>17:00-17:30 (計1名)</p>	<p>・捕獲装置のモニターでワナ内を確認したところ、囲いワナの中に3頭のシカを確認し、捕獲を実施。</p>
---	---

<p>2月7日(土)</p> <p>①10:00-12:00 (計3名)</p> <p>②14:00-15:00 (計3名)</p> <p>③16:40-17:30 (計1名)</p>	<p>①昨晚捕獲した3頭のうち、一頭を囲シカにした(左耳緑53)。</p> <p>②2頭搬出。</p> <p>③6頭の捕獲に成功し、仕分けを実施した(捕獲時刻16:57)。</p> 
--	---

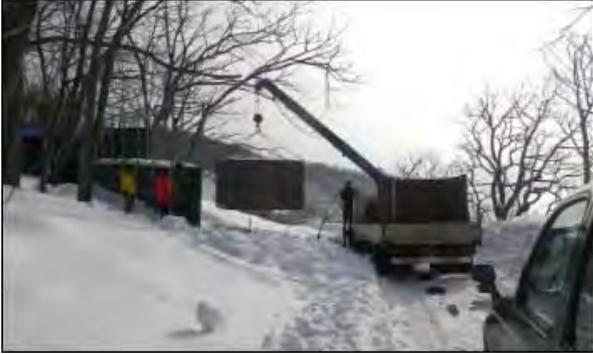
<p>2月8日(日)</p> <p>①14:20-15:00 (計3名)</p> <p>②16:20-16:50 (計3名)</p>	<p>①捕獲待機、強風対策、餌の状況確認を実施。シカの気配なし。</p>  <p>②捕獲待機するが、シカの気配なく断念。</p>
<p>2月9日(月)</p> <p>13:00-14:00 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲個体の搬出を実施(6頭) ・ワナ内の餌を内外に設置。 
<p>2月10日(火)</p> <p>16:15-17:15 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワナ内にオス2頭が入って来た為、捕獲。 ・追い込み捕獲箱への仕分けを実施し、対応終了。

<p>2月12日(木)</p> <p>①13:20-14:20 (計3名)</p> <p>②17:00-17:35 (計2名)</p>	<p>①・給餌及び捕獲待機を実施。 ・カメラのSDカードを交換。</p>  <p>②捕獲待機を実施。ワナ周辺に一頭のみ確認。捕獲ならず。</p>
<p>2月13日(金)</p> <p>15:40-16:30 (計4名)</p>	<p>・捕獲待機を実施。シカはワナ内にいたが、扉を落とす間もなく逃げられた。</p> 
<p>2月14日(土)</p> <p>15:50-16:50 (計2名)</p>	<p>・2頭の捕獲に成功。追い込み捕獲箱への仕分けも実施。</p> 

<p>2月17日(火)</p> <p>16:00-17:00 (計3名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪及び給餌を実施。 ・シカ2頭を搬出。 
--	---

<p>2月18日(水)</p> <p>①16:10-17:50 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲待機を実施。 ・4頭の捕獲に成功(17:30) 
---	---

<p>2月19日(木)</p> <p>①9:40-10:50 (3名)</p> <p>②14:00-14:45 (2名)</p> <p>③18:50-20:30 (1名)</p>	<p>①・捕獲されていた4頭を追い込み捕獲箱に閉じ込めた。 ・給餌を実施。</p>  <p>②4頭の搬出を実施。</p> <p>③捕獲待機を実施⇒2頭の捕獲に成功。</p>
---	--

<p>2月20日(金)</p> <p>9:25-10:20 (計3名)</p>	<p>・捕獲されていた2頭を追い込み捕獲箱に閉じ込めた。 ・給餌を実施。</p> 
---	---

2月21日(土)
16:35-18:10
(計2名)

- ・捕獲待機を実施。



2月22日(日)
16:30-17:15
(計3名)

- ・捕獲待機を実施。



2月23日(月)
11:15-11:30
(計3名)

- ・給餌を実施。
- ・カメラのSDカードを交換。



<p>2月24日(火)</p> <p>15:30-18:00 (計3名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3頭(内1頭は標識个体)の捕獲に成功、追い込み捕獲箱へ仕分ける。 
--	--

<p>2月25日(水)</p> <p>13:38-14:25 (計3名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲待機するが、直ぐにシカがワナ外へ移動したため捕獲なし。 ・給餌を実施。 
--	--

<p>2月26日(木)</p> <p>15:18-15:40 (計3名)</p> <p>18:15-18:50 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲待機するがシカの進入なし。 ・2/24夜間に捕獲・仕分けた2頭に餌と雪を与える。 ・夕方に捕獲待機し、3頭の捕獲に成功。 
---	--

<p>2月27日(金)</p> <p>9:10-9:55 (計4名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前日に捕獲した3頭の仕分けを実施。 
--	---

<p>3月2日(月)</p> <p>①8:45-9:50 (計2名)</p> <p>②10:30-12:00 (計2名)</p>	<p>①搬出待ちが続いている為、追い込み捕獲箱内のシカに給餌および雪の投入を行った。</p> <p>②追い込み捕獲箱内のシカの搬出を行った。</p> 
--	---

<p>3月4日(火)</p> <p>①8:55-10:15 (計4名)</p> <p>②16:10~16:45 (計2名)</p>	<p>①暴風雪に伴う除雪作業を行った。ワナのゲート周り、追い込み捕獲箱周り、ワナ内の除雪を重点的に実施。積雪量は、ゲート付近で48cm。</p>  <p>②捕獲待機するが、シカの進入はなし。</p>
---	---

<p>3月5日(木)</p> <p>①9:15-10:35 (計4名)</p> <p>②19:00-20:20 (計2名)</p>	<p>①・ワナのゲート前を除雪し、スペースを広くした。 ・ワナ内に乾草ブロックを給餌。 ・ワナ前～チャラセナイ左岸法面まで、誘引路をつけ、乾草ブロックを散布した。</p>  <p>②捕獲待機を実施。シカの姿なし。</p>
---	--

<p>3月7日(土)</p> <p>①9:00-10:00 (計2名)</p> <p>②20:30-21:00 (計1名)</p>	<p>①乾草ブロックをワナ内外に散布。自動撮影カメラのSDカードを交換。</p> <p>②捕獲待機を実施したが、シカの姿なく、対応終了。</p> 
---	---

<p>3月11日(水)</p> <p>①11:20-12:25 (計6名)</p> <p>②19:00-19:30 (計1名)</p>	<p>①・ワナ内外に乾草ブロックを散布した。 ・自動撮影カメラのSDカードを交換。 ・融雪に伴い、法面監視用のカメラの位置を下げた。</p>  <p>②捕獲待機を実施。シカの姿なし。</p>
---	---

<p>3月12日(木)</p> <p>17:15-19:10 (計1名)</p>	<p>・捕獲待機を実施。5頭の捕獲に成功。</p> 
--	--

<p>3月13日(金)</p> <p>①9:00-10:20 (計3名)</p> <p>②16:40-17:25 (計2名)</p>	<p>①・昨夜捕獲したシカの仕分け及び搬出を行った。 ・乾草ブロックをワナ内に散布。</p>  <p>②捕獲待機を実施。シカの姿はなく、捕獲ならず。</p>
--	--

<p>3月15日(日)</p> <p>17:15-19:20 (計1名)</p>	<p>・捕獲待機を実施。2頭の捕獲に成功(18:55)</p> 
--	--

<p>3月16日(月)</p> <p>9:40-10:30 (計4名)</p>	<p>・前日捕獲されたシカの確認、仕分け、搬出を実施。</p> 
---	--

<p>3月 17日 (火)</p> <p>18:40-19:30 (計 1名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲待機を実施。シカの姿なく、捕獲には至らず。
<p>3月 18日 (水)</p> <p>14:15-15:20 (計 2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワナの扉を落とし、捕獲体制は終了。 
<p>3月 19日 (木)</p> <p>10:00-11:30 (計 2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自動撮影カメラを回収。 ・餌の片付けなど。

フンベ罝いワナ

<p>平成 26 年 12 月 21 日 (日) 14:50-15:20 (計 3 名)</p>	<ul style="list-style-type: none">・フンベ川西方約 1100 m の弁財覆道東側出口～ウトロトンネル西側出口までの約 1.6km 区間において、シカのロードサイド分布状況調査を実施 (国道を車両で低速走行)、・エゾシカの発見なし (0 頭)、オジロワシの発見なし。
<p>12 月 24 日 (水) 13:20-13:50 (計 5 名)</p>	<ul style="list-style-type: none">・発注者、受注者で現場立会を実施。罝いワナの形状や位置について打ち合わせた。部材は現状のままで、形状を少し細長くすることとした。 
<p>平成 27 年 1 月 5 日 (月) 13:40-14:10 (計 6 名)</p>	<ul style="list-style-type: none">・シカの生息状況確認を実施。・下水処理場へのあいさつを行った。 

<p>1月10日(土)</p> <p>11:00-11:40 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワナ建設は始まっていないが、乾草ブロックでの誘引を先行。初めての給餌。 
--	--

<p>1月13日(火)</p> <p>10:20-11:00 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 給餌を行う予定であったが前回給餌した場所でシカが乾草ブロックを食べていた為に中止した。誘引状況確認のみ実施。 
--	--

<p>1月14日(水)</p> <p>10:30-11:00 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 乾草ブロックを前回と同じ場所と川の対岸から見える場所に設置。 
--	---

<p>1月17日(土)</p> <p>10:00-10:30 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乾草ブロックを、前回と同じ場所の立ち木の股にひっかけたり(今後の積雪を考慮して)、川の対岸から見える場所や河原に設置した。 
--	---

<p>1月20日(火)</p> <p>10:30-11:30 (計3名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乾草ブロックを畷設置予定地の奥側に設置した。 
--	---

<p>1月21日(水)</p> <p>11:15-12:15 (計5名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生息確認用自動撮影カメラとワナ前自動撮影カメラを設置した。 ・生息確認用自動撮影カメラは、センサーのみ(3shot)で撮影。もう一つは乾草ブロック設置位置の脇で、センサー(1shot)と15分のタイムラプス(昼のみ)の併用。 
--	---

<p>1月22日(木)</p> <p>13:15-13:50 (計1名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目視での生息状況確認を実施、計12頭をワナ周辺で目視した。 
--	---

<p>平成 27 (2015) 年</p> <p>1 月 26 日 (月)</p> <p>①10:00～11:20 ②15:00～16:00 (計 1 名)</p>	 <p>①ワナ部材到着につき材料検収を行う。検収後、工事を開始し基礎となる杭を打とうとしたところ、大岩が多く、杭が打ち込めないことが判明。発注者へ、単管でトライアングルを組み土嚢で固定する工法に変更することを協議。(後日承諾)</p> <p>②ワナ前自動撮影カメラ周辺に、乾草ブロックを散布した。</p>
--	--

<p>1 月 29 日 (木)</p> <p>14:00-14:30 (計 2 名)</p>	<p>・ワナ前自動撮影カメラ周辺や川沿いに、乾草ブロックを散布した。</p> 
--	---

<p>1月31日(土)</p> <p>13:30-14:00 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自動撮影カメラのSDカードを交換。 
--	---

<p>2月3日(火)</p> <p>15:20-16:30 (計4名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワナの周囲および内部の除雪を重点的に行った。 ・ワナの外に乾草ブロック散布。 
---	--

<p>2月4日(水)</p> <p>8:55-9:30</p> <p>計3名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・完成検収を実施。 ⇒この時点では捕獲装置は未完。夕方には完成予定。 ・ワナ内外に乾草ブロックを散布。 
--	---

<p>2月6日(金)</p> <p>①9:00-9:15 (計5名)</p> <p>②9:55-10:30 (計5名)</p>	<p>①現場到着時、ワナ前にシカが来ていた為、一時引き返した。</p> <p>②ワナ内外に乾草ブロックを散布。ワナ内にも自動撮影カメラを設置した。</p> 
---	--

<p>2月7日(土)</p> <p>①13:30-14:30 (計2名)</p> <p>②16:00-17:30 (計2名)</p> <p>③19:00-19:30 (計1名)</p>	<p>①・乾草ブロックをワナ内外に散布。 ・自動撮影カメラのSDカードを交換。</p>  <p>②捕獲待機を実施。ワナ内のシカが増えない為、捕獲は実行せず。</p> <p>③捕獲待機を実施したが、シカの出入りがなく対応終了。</p>
--	--

<p>2月8日(日)</p> <p>①10:40-11:00 (計3名)</p> <p>②14:00-14:20 (計3名)</p> <p>③16:50-17:20 (計3名)</p>	<p>①捕獲用カメラシステムにモニターを接続し、監視を行った。</p>  <p>②強風対策を実施(捕獲ゲートを少し下げる)。</p> <p>③4P♂1頭の捕獲に成功。追い込み捕獲箱に閉じ込めた。</p>
--	---

<p>2月9日(月)</p> <p>9:00-10:00 (計3名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲装置のモニターを接続してワナ内の映像を確認したが、シカの姿はなく、作業に入った。 ・ゲートのワイヤーを巻き上げるハンドルが固定されており、扉の落下がスムーズでないと報告があったため、テストを行った。やはりハンドルが装着された状態だと扉の落下がスムーズでない。ハンドルを外し再設置した。 
--	---

<p>2月10日(火)</p> <p>①11:45-12:15 (計2名)</p> <p>②17:15-18:00 (計2名)</p> <p>③21:20-22:00 (計2名)</p>	<p>①捕獲待機したが、シカは現れず。</p> <p>②ワナ内にいるシカを確認したが、タイミングを逃して捕獲できず。</p> <p>③捕獲待機の結果。シカ2頭の捕獲に成功。</p> 
---	---

<p>2月11日(水)</p> <p>①10:30-11:00 (計4名)</p> <p>②14:50-16:00 (計4名)</p> <p>③18:20-19:30 (計1名)</p>	<p>①昨夜捕獲したシカの仕分けを実施。</p>  <p>②計3頭の搬出を実施。</p> <p>③捕獲待機したがシカは現れず。</p>
---	---

<p>2月12日(木)</p> <p>①10:44-10:56 (計4名)</p> <p>②14:20-15:00 (計3名)</p> <p>③17:35-18:05 (計1名)</p>	<p>①ワナ内の進入状況を確認したが、シカの姿はなく対応終了。</p> <p>②自動撮影カメラのSDカードを交換。 乾草ブロックをワナ外に散布。</p> <p>③捕獲待機を実施したが、シカの姿は確認できず対応終了。</p> 
---	--

<p>2月13日(金)</p> <p>①12:55-14:20 (計3名)</p> <p>②16:40-17:15 (計3名)</p>	<p>①捕獲待機を実施。最大4頭が一瞬入ったが、ワナのすぐ外にシカが10頭ほどいたのと、すぐに出ていったため扉は落とせなかった。</p>  <p>②3頭の捕獲に成功。追い込み捕獲箱への仕分けも実施し、ワナを再稼働。</p>
---	---

<p>2月14日(土)</p> <p>①13:00-14:00 (計2名)</p> <p>②16:00-16:30 (計2名)</p> <p>③16:50-17:30 (計2名)</p>	<p>①捕獲待機を実施。ワナ前にシカは見えるがワナ内に入らないため捕獲ならず。</p> <p>②捕獲待機を実施。シカは現れず、捕獲ならず。</p> <p>③捕獲待機を実施するも、捕獲ならず。</p> 
---	--

<p>2月17日(火)</p> <p>①13:00-15:30 (計5名)</p> <p>②17:05-17:15 (計3名)</p> <p>③21:15-23:00 (計1名)</p>	<p>①ワナの除雪を実施。その後乾草ブロックを給餌。</p>  <p>②捕獲待機を実施。捕獲には至らず。</p> <p>③捕獲待機を実施。シカは現れず。</p>
---	--

<p>2月18日(水)</p> <p>①11:30-12:00 (計2名)</p> <p>②13:20-14:00 (計2名)</p> <p>③15:30-16:10 (計2名)</p> <p>④17:50-18:10 (計1名)</p> <p>⑤19:00-19:30 (計1名)</p>	<p>①捕獲待機を実施。シカは現れず。</p> <p>②捕獲待機を実施。シカが現れない為、給餌を実施。</p> <p>③追い込み捕獲箱内のシカを搬出。</p>  <p>④捕獲待機を実施。シカの姿は見えない。</p> <p>⑤捕獲待機を実施。シカの姿なく、捕獲には至らず。</p>
---	---

<p>2月19日(木)</p> <p>①7:45-8:15 (計1名)</p> <p>②11:10-11:25 (計3名)</p> <p>③15:00-16:40 (計2名)</p>	<p>①捕獲待機を実施。シカの姿はなく、捕獲に至らず。</p> <p>②捕獲待機を実施。シカの姿はなく、捕獲に至らず。</p> <p>③・2頭の捕獲に成功。追い込み捕獲箱に閉じ込めた。 ・給餌を実施。</p> 
---	---

<p>2月20日(金)</p> <p>①13:25-13:55 (計1名)</p> <p>②14:15-15:00 (計4名)</p> <p>③17:00-17:25 (計2名)</p> <p>④18:10-18:40 (計2名)</p>	<p>①捕獲待機を実施。シカの姿はなく、捕獲に至らず。</p>  <p>②2頭の搬出を実施。</p> <p>③捕獲待機を実施。ワナの前にシカはいたが、いなくなった為、一時引き上げ。</p> <p>④捕獲待機を実施。1頭の捕獲に成功。</p>
---	--

<p>2月21日(土)</p> <p>①8:55-9:30 (計4名)</p> <p>②15:00-15:30 (計3名)</p>	<p>①・昨日捕獲したシカを追い込み捕獲箱に仕分けた。 ・乾草ブロックをワナ内に散布。 ・ワナ内の古くなった餌は、ワナ外に出し、誘引用にした。</p> <p>②シカの搬出を実施。</p> 
---	--

<p>2月22日(日)</p> <p>①10:00-10:30 (計2名)</p> <p>②14:00-14:50 (計2名)</p> <p>③17:15-17:40 (計3名)</p>	<p>①、②、③捕獲待機を実施。シカの気配なく、捕獲にはいたらず。</p> 
---	--

<p>2月25日(水)</p> <p>①9:00-9:20 (計3名)</p> <p>②14:25-15:05 (計3名)</p>	<p>①捕獲待機するがシカの進入なし。</p> <p>②ワナ内外に乾草ブロックを散布。</p> 
---	---

<p>2月26日(木)</p> <p>①15:40-16:12 (計3名)</p> <p>②18:50-19:40 (計2名)</p>	<p>①捕獲待機するがシカの進入なし。</p>  <p>②捕獲待機を実施。ワナ内へのシカの進入を確認したが、ゲートの下にシカの首があった為、扉を落下させられなかった。</p>
---	---

<p>2月28日(土)</p> <p>15:30-16:30 (計4名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワナ内外の除雪を実施。 ・給餌を実施。 
--	--

<p>3月1日(日)</p> <p>16:30-17:20 (計1名)</p>	<p>・捕獲待機するがシカの進入なし。</p> 
---	--

<p>3月4日(水)</p> <p>①10:15-11:30 (計4名)</p> <p>②16:45-17:15 (計2名)</p>	<p>①ワナ内外の除雪を実施。</p>  <p>②捕獲待機するが、シカの進入はなく、捕獲には至らず。</p>
--	--

<p>3月5日(木)</p> <p>①10:35-11:10 (計4名)</p> <p>②18:15-19:00 (計2名)</p>	<p>①・ワナ内のゲート正面を広く除雪。ワイヤー巻き上げ部も掘り出した。 ・ワナ内に乾草ブロックを散布。ワナ外にも散布した。 ・自動撮影カメラのSDカードを交換。</p> <p>②捕獲待機を実施するが、映像ケーブルが不調。後日要確認</p> 
<p>3月6日(金)</p> <p>①9:00-12:00 (計3名)</p> <p>②11:00-11:40 (計2名)</p>	<p>①・ケーブル周辺の除雪を実施。 ・乾草ブロックをワナ内外に散布した。 ・カメラケーブルが積雪の影響により不調。 ⇒修復を試みたが、モニターには映像がはっきりと映らない。</p>  <p>②ケーブルの状況を再確認。</p>
<p>3月9日(月)</p> <p>16:00-17:30 (計3名)</p>	<p>・捕獲待機を実施。シカの姿なく、捕獲には至らず。 ・乾草ブロックをワナ内・前に散布した。</p>

<p>3月 11日 (水)</p> <p>①11:00-11:20 (計 6名)</p> <p>②19:00-19:30 (計 1名)</p>	<p>①・ワナ内の古くなった餌をワナ外に散布し、ワナ内に新しい餌を散布した。 ・自動撮影カメラの SD カードを交換。</p>  <p>②捕獲待機を実施。シカの姿なし。</p>
<p>3月 12日 (木)</p> <p>①11:30-13:00 (計 4名)</p> <p>②16:10-16:40 (計 4名)</p>	<p>・捕獲待機を実施し、4頭の捕獲を確認。 ・捕獲した4頭を搬出。 ・ワナを復旧させ、再稼働。</p> 
<p>3月 13日 (金)</p> <p>①16:30-17:00 (計 2名)</p> <p>②17:30-18:20 (計 2名)</p>	<p>①捕獲待機を実施したが、扉の落下装置が上手く作動せず、捕獲失敗。 ②捕獲待機を実施。シカの姿はなく、捕獲には至らず。</p>

<p>3月14日(土)</p> <p>①9:10-9:40 (計2名)</p> <p>②15:00-15:40 (計2名)</p> <p>③17:10-17:50 (計2名)</p> <p>④18:20-18:50 (計2名)</p>	<p>①乾草ブロックをワナ内外に散布。</p> <p>②捕獲待機を実施したが、捕獲には至らず。</p>  <p>③、④捕獲待機を実施したが、捕獲には至らなかった。</p>
---	---

<p>3月15日(日)</p> <p>16:50-17:15 (計1名)</p>	<p>・捕獲待機を実施。6頭の捕獲に成功。</p> 
--	--

<p>3月16日(月)</p> <p>8:55-9:50 (計4名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨晚捕獲したシカを仕分け、搬出した。 ・ ワナ内外に乾草ブロックを散布した。 
<p>3月17日(火)</p> <p>19:40-20:10 (計1名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲待機を実施したが、シカの捕獲には至らなかった。
<p>3月18日(水)</p> <p>13:10-14:15 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲体制を終了。扉を落とし、捕獲がないように設定した。 
<p>3月19日(木)</p> <p>9:00-10:00 (計2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動撮影カメラをすべて回収した。 ・ 餌などの片付け

林野庁 北海道森林管理局 請負事業

事業名：平成 25 年度網走南部署斜里地区鳥獣被害対策エゾシカ捕獲事業第 2 号

事業期間：平成 26 年 12 月 16 日～平成 27 年 3 月 20 日

事業実施者：公益財団法人 知床財団

〒099-4356 北海道斜里郡斜里町岩宇別 531

知床自然センター内

TEL：0152-24-2114

